

有松まちづくりの会役員会　　（10月26日）

・　27日に絞会館2階で開催される第3回日本遺産に関する勉強会への参加の呼びかけがありました。
・　12月12日～14日に開催される第49回全国町並みゼミ松阪大会の参加者を募り、更に呼びかけをすることとしました。
・　来年2月13日～3月22日に実施される文化体験博「有松コレクション」では、有松まちづくりの会として
①　名古屋観光特使サックス侍の絞会館でのライブ　②　福よせ雛を参加者が自作して設置する
といった企画に取り組むと報告がありました。

アジア・アジアパラ大会 プレスセンターで有松をPR （9月18日 NPO法人コンソーシアム有松）

アジア大会直前、熱気あふれるプレスセンターで日本遺産有松と有松絞のPRを行いました。大会のイメージカラー・オレンジと緑に染められたトートバッグの糸抜きを、訪日されている記者や関係者の皆さんに体験していただきました。鎧段絞り風に括られている一本の糸をてこずりながらほどく方、くるくると要領よくほどく方、様々でしたが、広げた時は「WAO！」と皆さんその可愛さに目を見張られていました。絞りの美しさは、世界に届くと実感しました。



日本遺産有松「文化体験博～有松コレクション～」を盛り上げよう （9月24日、10月10日）

有松で文化体験博(通称 有松コレクション)をたくさん開催して、多くの方に来町・楽しんでいただこうと有松日本遺産推進協議会が企画しているもので、来年2月13日から3月22日の期間に開催されます。その運営参加者説明会が2日間3回にわたり行われ、25組ほどが持ち寄った企画案を参加者同士で練り上げていき、目的意識をはっきりさせていくユニークな方式で、それぞれの体験博の内容を決めていきました。「人を集めるには？」「魅力的な呼びかけは？」など、みな頭を悩ませながらも熱気が感じられた会でした。ぜひご期待ください。



桜花学園公開講座　さくら講座1回目 開講　講師：根尾文彦氏 （9月26日） 於：桜花学園

大きな講義室に受講者7名、当日は欠席があり5名でした。第１回は「地域の文化資源を活用してまちを盛り上げよう！」というテーマでした。意識しない、自分には見慣れた様々なものが文化資源だと気付かされました。また、文化と観光と経済のサイクルの相乗効果に着目したものが文化観光だと理解しました。

講座は全5回:10/3,10,17,24 (いずれも土曜)。



↑講演風景；さくら講堂→根尾氏



有松で観光振興に関わる者として、多くの気付きを与えてくださった講演でした。

特集　有松天満社秋季大祭

思い出の写真展　（10月4日）









今回初披露　東町と中町（右）













夜の部











山車まつりに向けて　話題2つ

玉屋庄兵衛直伝のからくり人形展示　（9月下旬～10月4日）





有松郵便局向かい川口さん宅ガレージに山車まつりポスターと共に、からくり人形が飾られていた。ご主人が10年前に木工教室で作られたとのこと。その講師が9代目玉屋庄兵衛さん。顔は玉屋さんがプレゼントしてくださり、ボディーは玉屋さんご指導のもと制作されたそうです。

お祭りが近いので、お稽古期間と当日４日に飾ったとのこと。豊田でのまさかの出会い、のち住むことになった有松で東町布袋車を通じて出会うことに…素敵なめぐり逢い。

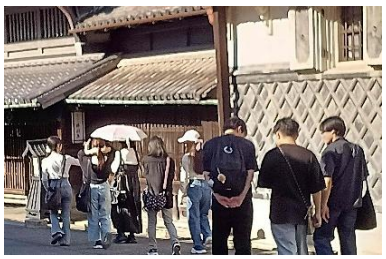
今年も！　局長さん達ありがとう　一里塚草刈り清掃　（9月27日）



昨年に続き、名古屋市南部地区郵便局長会の皆さん12名が地域貢献活動として、長雨のため伸び放題になっていた一里塚と隣接駐車場の草刈り清掃をしてくださいました。今回は、雑草に加えて徒長していていたおかめ笹も刈込み、草刈り・草集め・袋詰めと段取り良い作業を1時間。なんとごみ袋45程にもなり、有松まちづくりの会や有松あないびとの会のメンバーと共に達成感あふれる笑顔。秋季大祭を前にすっきりときれいになりました。お疲れ様でした。

行楽の秋！ 有松を堪能していただけましたか？





「昨年よりも人出多いね」どこで聞いてもこんな答えが返ってきた。地元の皆さんの新しい切り口での有松の魅力再発見の賜物では…散策を例に紹介したい。

ミシェル組「ぶらり有松～キモノでお出かけ」開催（9月26日）



絞りまつりを始め、有松絞りの浴衣を着用して広くその魅力を発信されているミシェルさん（女装男子）主催の会が、東京・神奈川・長野・岡山など各地から30名もの参加者で華やかに開かれました。当日は雨模でしたが、綿密なスケジュールで"しごでき"なスタッフさんが参加者を見事におもてなし。あないびとと町並み歩き、やまとで昼食、絞会館で足袋の染め体験と盛りだくさんの内容に参加者は満足顔でした。映える有松のそこかしこで写真撮影された皆さん、多数SNSにアップして有松を発信してくださっています。

太陽生命「クアオルト風ウオーキングを楽しむ」開催（10月17日）



東海道沿いの重厚な建物群も素晴らしいが、一歩街道を離れた小路や長坂道を歩くとほっこりする。天満社の参道はきついが、この地が丘陵地だと知る。すぐ近くの鳴海下郷家の別荘地だった細根山に向かう。今は竹林に覆われているが、手入れされ京都嵐山をほうふつされる景観が広がる。有松の知られていない顔を知ることができた散策会。写真は皆で"ヤッホ"の声出し風景です。

色を巡る対話　～自然の声、糞に宿る循環～　（9月26日）　於:moss ARIMATSU

有松うんち絞り染め編　　主催:イクセンプロジェクト

春からの連続シリーズ「色を巡る対話」。秋の部では、牛飼いの幸山明良さんが育てたウシのフンを使って、草木染め経験豊かな村田牧子さんが染色を行うというもの。有松でかつてない染色ワークショップとか？"うんち染め"に惹かれ取材させていただいた。





幸山さん(左)と村田さん

参加者は８人。「うんちは人間のできる地球への最高のご褒美です。この言葉に惹かれて参加した」と話す人や「どんな色に染まるのか？」興味津々の人まで様々。

主催者によると「染色ワークショップ体験を通じて、技法の体験を超えた"共に創ること"の意味に触れるプログラム」とのこと。「自然との関わり方を見つめ直す機会」であることは確かなようだ。



有松絞親子体験教室2026開催　（9/20,10/12,11/3am,11/3pm,11/23）NPOコンソーシアム有松

親子6組13人が参加。訪問した10月12日は形状記憶の加工に取り組んでいた。現代的な絞りを施したエコバッグを染色し圧力鍋で加工。糸抜き作業中に参加者の声を拾ってみた。市外からの方も見られた。地元出身の方は「幼稚園・小学校と絞りを体験してきました。更に極めたくて…」と。別の男性は「自分から参加を決めました」と。伝統工芸士から直に学べる"稀有な"体験教室。主催者(コンソーシアム有松)の企画意図がしっかりと伝わっているようだ。次回は染色工場で持参の衣料品を染色するとのこと。



2026 有松町家ライブ 晩秋スペシャル企画 於:棚橋家住宅

第1弾　秋の奏 JAZZ （10月18日）

東海道に漏れるジャズの音色は心地よい。"蘇州夜曲"など馴染みの2曲の後はJAZZ風にアレンジしたシャンソン。30名程の参加者はうっとりと聞き入っていた。



第2弾 有松 茶の湯ロマンの世界 二胡ライブ（10月24日）

茶の湯文化に触れ、二胡の響きが心にしみわたる体験の場であった。参加者は有松の奥深さを強く感じたようだ。



催事・行事予定

11月14日(土)　あいちの建物博覧会　建物公開日
中濱家住宅・山中歯科医院・岡家住宅
11月14日(土)15日(日)　10:00　有松コミセンまつり　有松コミセン
11月16日(月)　18:00　有松町並み相談会　有松コミセン
11月22日(日)　7:30　かえで道清掃　有松まちづくりの会
11月30日(月)　18:30　有松まちづくりの会役員会

▼ 11月のイベント紹介

11月8日(日)　14:00 藍の色 あいの音
ピアノ尺八INFINITY
（有松町家ライブ・棚橋家住宅）
11月25日(水)13:00～15:00 七五三詣り
（天満社本殿 先着10組）
11月29日(日)15:00　上方落語 独演会
（桂九雀亭、寿限無茶屋）

発行者　中濱　豊(有松まちづくりの会　会長)
編集者　加藤明美(有松まちづくりの会　広報部長)
pegasusb@mc.ccnw.ne.jp　取材・撮影　伊藤総俊
有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)
詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。
有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。